

ことしは、 これをやります。

2012年度、
流山市が取り組む
主な仕事



「愛着と誇りを持てるまち」そんなまちをつくります

今回の特集号では、今年度に流山市が取り組んでいく主な事業についてご紹介します。平成24年度では、福祉や教育、環境、土木などの分野で合わせて958の事業を行います。ご紹介する事業以外にも、流山市ホームページ・企画政策課のページに「平成24年度主要事業」として掲載していますのでご覧ください。



放射能対策 → P2



都市基盤の整備 → P3



生活環境の整備 → P5



教育文化の向上 → P7



市民福祉の充実 → P8



産業の振興 → P9



行政の充実 → P10

広報「ことしはこれをやります」事業特集号

市長メッセージ

安心して末永く
住める街へ



流山市長 井崎義治

「これから一年間、流山市ではどんな事業を進めるのか、どんな施設ができるのか」をまとめた、平成24年度版「ことしはこれをやります！」をお届けいたします。今年度の特徴は、安心できる生活環境を取り戻すため、放射能対策に係る事業を数多く実施することです。特に、小・中学校や保育所などの子どもが生活する78施設については、平成24年度前半中に全ての施設の除染作業を完了させる予定です。民有地についても、中学生以下の子どもがいるご家庭を優先して、対応を図ります。

また、東日本大震災の発生を教訓に、いつ起こるか分からない大規模災害に備え、学校に続き公共施設の耐震工事、小・中学校などの避難所へのデジタル無線機の配備や地域防災計画の見直しを進めます。なお、防災組織体制を強化するため今年4月に防災危機管理課を設置しました。

さらには、開発で失われた緑を取り戻すためのグリーンチェイン戦略の推進、保育所や学童クラブの新増設、小・中学校における英語教育の充実、老人福祉センターの建て替えや高齢者等のごみ出し支援など、良質な街づくりに向けた各種事業を積極的に展開して参ります。

事業の実施に当たっては、全職員が効率と効果を念頭に取り組んで参りますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

放 子どもの生活する施設の除染対策事業

4億6,793万円

小・中学校、私立幼稚園、公私立保育所、学童クラブなどの子どもが生活する78施設では、放射線量の数値にかかわらず全施設を対象に除染作業



3月20日、八木中学校で行われたグラウンドの除染作業

を実施し、国の基準より厳しい高さ5センチメートルで毎時0.23マイクロシーベルト未満とします。なお、除染方法は、表土のすき取りやアスファルトの洗浄など流山市除染実施計画に基づき必要なものを選定し、平成24年度前半中に完了させる予定です。

問 教育総務課 ☎7150-6103 / 学校教育課 ☎7150-6104
保育課 ☎7150-6124 / 子ども家庭課 ☎7150-6082

放 射能に係る対策

安心して住める街に

放 放射線測定器の貸し出し・市民の除染作業の支援事業

2,080万円



貸し出しする空間放射線量測定器

引き続き、市民や自治会に空間放射線量の測定器を貸し出します。また、市民が除染作業を実施する際に必要なシャベルやスコップなどを貸し出し、手袋やマスクは提供します。さらに、春と秋に実施するごみゼロ運動で発生した剪定枝や落ち葉、草を収集し森のまちエコセンターまで運搬します。

問 放射能対策室 ☎7168-1005 / 環境政策課 ☎7150-6083

放 公園や公共施設などの市有地の除染対策事業

6億8,557万円



公園の天地返し

市内の公園や緑地などで、放射線量を低減させるため、樹木の剪定や天地返しを行うとともに、遊具や植栽などの除染作業を実施します。また、流山おおたかの森駅南口都市広場や体育施設、福祉会館などの公共施設や通学路に当たる道路でも流山市除染実施計画に基づき除染作業を実施します。

問 みどりの課 ☎7150-6092 / まちづくり推進課 ☎7150-6090
生涯学習課 ☎7150-6106 / 商工課 ☎7150-6085
社会福祉課 ☎7150-6079 / 道路管理課 ☎7150-6093

放 民有地の放射線量測定と除染対策事業（予定）

補正予算で対応

申請を受け付け民有地の放射線量を測定し、基準を超える場合は市が除染を行います。なお、中学生以下のお子さんのいるご家庭を優先して、4月2日から5月9日まで申請受け付けを行います。

問 放射能対策室 ☎7168-1005

放 放射線に係る健康相談事業

144万円

放射線の健康不安に対応するため、中学生以下のお子さんを持つ保護者や妊婦を対象に専門家による個別健康相談を、引き続き概ね月4回実施します。

問 健康増進課 ☎7154-0331

放 焼却灰と落ち葉・剪定枝の一時保管に関する事業

2億3,988万円



焼却灰を一時保管

焼却施設の溶融飛灰から基準を超える高濃度セシウムが検出されたことから、受け入れ先が確定するまで溶融飛灰を一時保管します。また、溶融飛灰に含まれる放射性物質を減らすため、原因とされる剪定枝などを別回収します。なお、別回収した剪定枝などは焼却を中止し、森のまちエコセンターで一時保管します。

問 クリーン推進課 ☎7157-7411
リサイクル推進課 ☎7157-8250

放 公民館等の公共施設の放射線量測定事業

300万円

文化会館や南流山センター、各公民館、生涯学習センター、各図書館、一茶双樹記念館、杜のアトリエ黎明、市営住宅において、敷地内を10メートルメッシュで空間放射線量の測定を行い安全性を確認します。

問 公民館 ☎7158-3462 / 図書・博物館 ☎7159-4646
生涯学習課 ☎7150-6106 / 建築住宅課 ☎7150-6088

放 市内農作物、学校・保育所の給食の放射性物質分析事業

483万円



農作物などを分析検査

流山産農作物の放射能に対する安全性を確認し信頼を確保するため、放射性物質分析検査を引き続き実施します。同じく、学校や保育所の給食についても、食材の放射性物質分析検査を実施し子どもたちの食の安全を図ります。

問 農政課 ☎7150-6086 / 学校教育課 ☎7150-6104
保育課 ☎7150-6124

都

公園の新設と
施設整備に関する事業

4億7,595万円



遊具などが設置される三輪野山4号公園

流山おおたかの森駅近隣地域の良好な住環境を整備するため、市野谷の森東隣公園の設置に係る負担金を支出します。さらに、(仮称)平和台2号緑地の用地取得と三輪野山4号公園の遊具やベンチなどの設置工事を行います。

問 みどりの課 ☎7150-6092

都

市基盤の整備

整備・開発と自然環境の
バランスがとれた流山

都

グリーンチェーンの
推進と緑化の啓発事業

314万円



グリーンチェーン認定マーク

ヒートアイランド抑制型のまちづくりに反映させるため、TX沿線整備区域内の熱環境現況観測調査を引き続き実施するほか、「グリーンチェーン」による緑の確保と創出を図るため、普及・啓発事業として市民の方々などを対象としたセミナーを開催します。なお、これまでに約2,700戸がグリーンチェーン認定を取得し、認定物件における緑化面積は約3万6,400㎡となっています。

問 みどりの課 ☎7150-6092

都

小さな森のある
学園づくりプロジェクト

※日本財団からの
助成金で実施 0円



今年1月、商工会館で講演する宮脇昭名誉教授

森づくりの第一人者の宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導のもと、小・中学校の校庭に常緑樹を植えて森を作ります。平成23年度に実施の予定が東日本大震災の発生により延期となっていた、鱈ヶ崎小学校と南流山中学校で森づくりが進められます。なお、本事業は日本財団からの助成金を受けて行うものです。

問 環境政策課 ☎7150-6083 / 指導課 ☎7150-6105

都

既成市街地の公共下水道整備に
関連する事業

11億4,030万円

江戸川左岸流域関連公共下水道については、東深井、西初石4・5丁目、長崎1丁目、西松ヶ丘1丁目、名都借、松ヶ丘3丁目、向小金1丁目の各一部で合計28.6haを整備します。手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、駒木の一部1.4haを整備します。



● は整備予定箇所

問 下水道建設課 ☎7150-6097

都

TX沿線の整備に関する事業

31億2,677万円

県が施行する運動公園周辺地区および木地区一体型特定土地区画整理事業を費用負担協定に基づき支援します。本市が施行する西平井・鱈ヶ崎地区土地区画整理事業については、平成28年度の完成を目指し、事業に取り組んでいます。今年度は、宅地造成工事や区画道路整備工事の他、都市計画道路3・3・2号線の整備のための造成工事や鱈ヶ崎駅前の調整池築造のための仮設道路整備などを実施します。また、TX沿線土地区画整理区域内で、污水管や雨水管、水道管を整備します(污水管整備面積/32.7ha、雨水管整備面積/9.4ha、水道管/延長13,810m)。



開発の進む西平井・鱈ヶ崎地区

問 まちづくり推進課 ☎7150-6090
西平井・鱈ヶ崎地区区画整理事務所 ☎7157-6100
下水道建設課 ☎7150-6097 / 水道局工務課 ☎7159-3233

都

流山おおたかの森駅前市有地活用事業

1,008万円



昨年11月に策定した流山おおたかの森駅前市有地活用基本方針に基づき、開発事業者の公募を行います。本基本方針では、市の新しい交流拠点を形成するため、民間活力により音楽ホールや(仮称)市民窓口センターなどの公共施設に加え、宿泊施設、商業・業務施設などからなる複合的な機能の導入を図ることとしています。

☎ 誘致推進課 ☎ 7150-6319

都

江戸川台駅西口広場改良事業

1億円



完成イメージ図

交通の利便性と魅力ある空間づくりを目指して、地域の皆さんと協働により作成した整備プランにより、平成23・24年度継続事業で江戸川台駅西口広場の改良整備を進めています。今年6月には工事が完了する予定です。

☎ 道路建設課 ☎ 7150-6094

都

道路の維持補修事業

2億2,000万円



安全のための道路工事

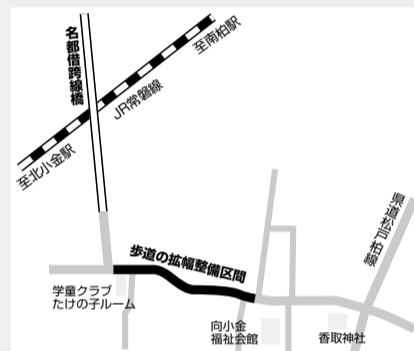
市道における歩行者および通行車両など、道路利用者の安全性と快適性の確保と道路交通環境の向上を図るため、道路の舗装劣化区間や破損力所について維持補修を行います。平成24年度の予定は、11路線で工事延長は3,500mです。

☎ 道路管理課 ☎ 7150-6093

都

前ヶ崎・向小金1号道路及び名都借跨線橋道路拡幅事業

1,165万円



市道前ヶ崎・向小金1号道路の向小金福祉会館前から「たけの子ルーム」前までの170mについて歩道の拡幅整備を実施します。平成24年度は、用地の測量などを行います。また、JR常磐線をまたぐ道路として交通量の多い名都借跨線橋道路の安全対策と利便性向上のため、道路の拡幅を計画しています。平成24年度から関係機関との協議に必要な協議図面などの設計を委託します。

☎ 道路建設課 ☎ 7150-6094

都

浸水被害対策に関連する事業

1億4,323万円



野々下1号雨水幹線は、道路の下を推進工法で施工

野々下周辺地区の浸水被害の解消を図るため、公共下水道計画に基づき進めてきた野々下1号雨水幹線整備事業を今年度で完了します。向小金地区では、2・3丁目の浸水被害解消のため向小金雨水幹線を整備していますが、今年度はJR常磐線軌道下の水道管を移設します。

☎ 河川課 ☎ 7150-6095

都

大堀川リバーサイドパーク・プロジェクト (大堀川防災調節池の整備に関連する事業)

5,600万円



整備の進む大堀川

北千葉導水路からの河川環境用水を一級河川大堀川の最上流まで延伸して、河川の水量と良好な水質を保つことで河川環境の改善を図ります。平成22～24年度の継続事業で今年度は放流施設の築造工事を行い環境用水整備事業を完了します。また、水辺活動やコミュニティの場を創出する修景整備についても、植栽工事や管理用道路の工事を実施します。

☎ 河川課 ☎ 7150-6095

都

運河駅自由通路・橋上駅舎と運河駅東口開設に関連する事業

16億9,550万円



新駅舎の完成予想図

東武野田線運河駅利用者の利便を図るため、平成24年度末の完成に向け、駅の東西を結ぶ自由通路の整備及び駅舎の橋上化を行います。また、新たに開設する東口では、自由通路から利根運河に架るふれあい橋に通じる歩行者専用道路の工事を実施します。

☎ 都市計画課 ☎ 7150-6087
☎ まちづくり推進課 ☎ 7150-6090

都

江戸川台浄水場の更新事業

9億6,103万円



江戸川台浄水場の工事は今年度で完了

平成19～24年度の6年間の継続事業で進めてきた江戸川台浄水場の更新事業は、今年度に管理棟の工事と電気・機械設備を更新し完了となります。

☎ 水道局工務課 ☎ 7159-3233

生活環境の整備

生活の豊かさを 実感できる流山

都ぐリーンバスの運行事業

3,332万円

現在、市内6ルートでぐリーンバスを運行しています。利用者数は1カ月平均で約5万5千人。平成24年3月8日には開業以来の累計利用者が300万人を超え、収支率は県下第1位です。



流山おおたかの森駅前に停車中のぐリーンバス

また、更なる利便性を図るため、松ヶ丘ルートと野々下・八木南団地循環ルートとを接続した「南柏駅～流山おおたかの森駅」路線と、豊四季駅から流山セントラルパーク駅方面への路線を平成25年3月に開設する予定です。

☎ 都市計画課 ☎ 7150-6087

生 低炭素都市実現へ向けた事業

1,211万円

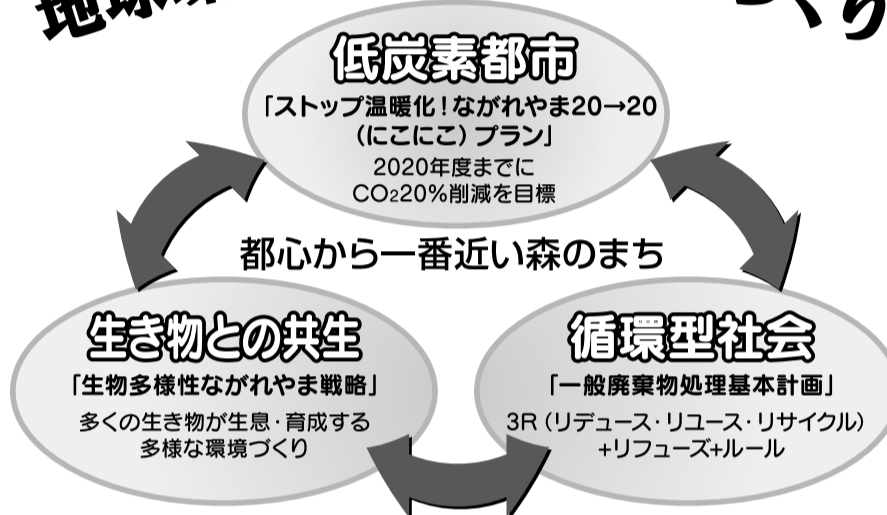


生涯学習センターで作った
ゴーヤカーテン

地球温暖化対策実行計画に基づき、環境家計簿や省エネ普及啓発機器などを活用した市民の温暖化対策への意識の向上を図るとともに、市役所の公務用自転車の拡充や職員によるノーマイカーデーの実践、緑のカーテンの一層の普及などにより、二酸化炭素排出量を抑制します。さらに、太陽光発電設備設置事業の奨励金交付規則の申請要件を緩和し、市内の住宅への太陽光発電設備の設置を促進します。

☎ 環境政策課 ☎ 7150-6083

地球環境にやさしいまちづくり



生 生物多様性を推進する事業

323万円



今年2月に行われた生物多様性シンポジウム

生物多様性ながれやま戦略に基づき、モニタリング調査を通年で行うほか、小・中学校での植樹(グリーンウェイブ)やグリーンフェスティバルでの啓発を行い、豊かな生物多様性の保全と回復を図ります。

☎ 環境政策課 ☎ 7150-6083

生 循環型社会の形成に向けた事業

7億4,142万円



資源ごみは集団回収に一本化

平成24年度から資源ごみの行政回収を廃止し集団回収に一本化するに当たり、リサイクル団体と再生資源物回収業者間の調整や団体活動の支援を行い、リサイクルシステムの円滑な推進を図ります。施設の運営管理の面では、リサイクルプラザ・リサイクル館の運営管理を包括的に委託し経費を削減するとともに、ごみ焼却施設については必要な機器の保守点検整備を実施します。

☎ リサイクル推進課 ☎ 7157-8250
☎ クリーン推進課 ☎ 7157-7411

生 防災行政無線の充実に関連する事業

5,508万円



総合防災訓練で行われた避難訓練

小・中学校などの避難所に、災害時にも強いMCA無線機55台を新規配備し、市と避難所間での連絡手段の多重化を進めます。また、76ある子局のうち10局を新しくするほか、防災行政無線の未設置区域の解消に向け、流山おおたかの森駅周辺に新たに2カ所の子局を設置する予定です。

☎ 防災危機管理課 ☎ 7150-6312

生 高齢者等ごみ出し支援事業

1,400万円



一人暮らし高齢者などのごみ出しを支援

家庭ごみをごみ集積所まで運ぶことが困難な一人暮らしの高齢者などに対して、戸別収集を実施します。また、排出の状況について異変があれば福祉担当部局に情報提供し安否の確認を行います。

なお、事業費には有害・危険ごみの収集の委託費を含みます。

☎ リサイクル推進課 ☎ 7157-8250

生 地域の防災力を強化する事業

1億5,860万円



能登町から寄贈を受けた海洋深層水を防災備蓄倉庫に

東日本大震災の教訓を踏まえて地域防災計画を修正します。また、大規模地震の発生に備え、地域における自主防災組織の防災活動を支援するため、新たに防災資機材の購入に要する経費の一部を補助します。さらに、防災体制の一層の充実を図るため平成24年度は、災害用井戸を文化会館に、防災備蓄倉庫を流山小学校に設置します。

☎ 防災危機管理課 ☎ 7150-6312

生 耐震診断と木造住宅耐震改修の補助事業

750万円



柱を新たに設置し筋交いを入れた耐力壁

昭和56年以前に建築された、分譲マンション・木造住宅の耐震診断に要する費用および木造住宅の耐震改修に要する費用の一部を助成します。

☎ 建築住宅課 ☎ 7150-6088

生 消防力を近代化する事業

1億1,117万円



出初式で行われた最新車両による放水訓練

北消防署の老朽化した消防ポンプ自動車を、最新の車両に更新します。また、平成25年4月運用開始予定の消防救急無線デジタル化県域共同整備に伴い、一括で事務処理を行う千葉県市町村総合事務組合に負担金を支出します。

☎ 消防防災課 ☎ 7158-0151

生 南消防署の建て替え事業

1億9,081万円



老朽化により建て替えられる南消防署

昭和57年建築で経年による老朽化の著しい南消防署を解体し、同敷地に建て替えます。平成24・25年度の継続事業で建替工事を実施します。

☎ 消防総務課 ☎ 7158-0299

生 防犯灯の設置や防犯灯電気料金を補助する事業

6,324万円



LEDの防犯灯

自治会が設置する防犯灯の費用の一部を補助し、夜間における市民の安全確保と犯罪発生の防止を図ります。また、防犯灯の電球や点滅器の交換費用、防犯灯に係る電気料金についても一部を補助します。

☎ コミュニティ課 ☎ 7150-6076

生 地域消防を強化する事業

6,176万円



消防団員による操法訓練

土地区画整理事業に伴い、第19分団(管轄区域:駒木、十太夫、美田)機械器具置場と火の見やぐら用地に道路が拡幅されるため、新たに機械器具置場を建設するための移転用地を購入します。また、市内に23の分団がある流山市消防団の活動や運営に係る経費などを計上し地域の消防力の充実・強化を図ります。

☎ 消防総務課 ☎ 7158-0299

生 コミュニティの推進と自治会活動を支援する事業

2,717万円



自治会活動の拠点となる自治会館

新たな地域コミュニティの形成を図るため、小学校区を1単位とした「地域まちづくり協議会」の設立を支援します。コミュニティ形成の専門家を招いたシンポジウムの開催など、全学的なコミュニティ施策の推進を図ります。また、自治会活動の拠点となる自治会館の維持管理費や、松ヶ丘自治会ほか8自治会の自治会館の大規模な修繕費用の一部を補助します。

☎ コミュニティ課 ☎ 7150-6076

生 安全で安心して暮らせる地域社会づくり事業

295万円



市内を巡回する市民安全パトロール車

緊急時、携帯電話やパソコンに電子メールを配信します。災害時の避難情報やひったくり・空き巣などの犯罪発生情報などのほか、現在は放射能に関連する情報も配信しています。加入者は3万人を超え、今年10月からは外国人向けに英訳版のメールも配信する予定です。また、地域で活動している自主防犯パトロール隊(57団体、71自治会)と市民安全パトロール隊(73名)への支援を行います。

☎ コミュニティ課 ☎ 7150-6076

教

市民総合体育館の建て替え事業

8,200万円



新体育館完成イメージ

昭和51年建築の老朽化した市民総合体育館を、メインとサブの2つのアリーナと武道場、さらに避難所機能なども備えた延べ床面積約1万㎡の新体育館に建て替えます。平成27年4月のオープンに向けて平成24年度は建物の実施設計と外構の基本・実施設計を行います。

☎ 生涯学習課 ☎ 7150-6106

教

育・文化の
充実向上

学び、受け継がれ、
進展する流山

教

木の図書館の効率的な管理運営事業

5,000万円



4月29日にオープンした木の図書館

4月29日に「木の図書館」がオープンします(東部出張所併設、東部出張所は3月19日にオープン)。指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上と経費の節減を図り、施設の効率的な管理運営を行います。木の図書館は、木造2階建て約836㎡、蔵書数は書庫を含め約6万冊です。なお、現在の東部出張所は解体し跡地を駐車場としてご利用いただけます。

☎ 図書・博物館 ☎ 7159-4646 / 市民課 ☎ 7150-6075

教

小・中学校における
英語教育の推進事業

5,178万円



英語指導員スーパーバイザーによる授業

日常生活においても子どもたちが英語に触れる機会を増やし、英語による聞くこと、話すことを中心としたコミュニケーション能力の向上を図るため、これまで2校に1名だったALT(外国語指導助手)を全中学校8校に配置します。小学校においても、英語教育の充実を図るため、引き続き英語指導員スーパーバイザー3名を雇用します。

☎ 指導課 ☎ 7150-6105

教

文化施設の改修事業

4,419万円

北部公民館の耐震診断の結果を踏まえ、耐震補強とトイレ改修を実施します。中央図書館と博物館では、平成25年度に実施予定の耐震補強工事と外壁改修工事に向けた工事設計を業務委託します。また、障害者用の通路整備工事も含わせて実施し、利用者の安全を確保します。

☎ 公民館 ☎ 7158-3462 / 図書・博物館 ☎ 7159-4646

教

(仮称)新市街地地区
小中学校併設校の建設事業

9,840万円



子どもたち等の意見を聞くワークショップを3月10日に実施

新市街地地区内に、新たに(仮称)新市街地地区小中学校併設校を建設します。系統性のある一貫した教育を実践する場所となる小中併設校として、平成27年4月の開校を予定しています。平成23年度から25年度までの継続事業として、設計などの業務委託を行います。

☎ 教育総務課 ☎ 7150-6103

教

小・中学校の
施設整備に関する事業

3億4,308万円

児童数の増加による教室不足に対応するため、東深井小学校に学童クラブと併設の教室棟を増築します。八木中学校では、平成25年度に武道場を整備するため平成24年度は実施設計を行います。さらに、TX沿線整備の土地区画整理事業に伴う学校用地を購入します。平成24年度は、南流山中学校用地859.99㎡を購入。

☎ 教育総務課 ☎ 7150-6103

教

平和に関連する事業

65万円



原爆ドームの前で昨年の平和大使

教

児童・生徒の
学校生活をサポートする事業

7,564万円

児童・生徒のきめ細かい指導の充実と学力の向上、学校教育の活性化を図るため市内各小・中学校にサポート教員を派遣します。また、児童・生徒の健康管理のため、市域を4地区に分け各地区の小中学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置するとともに、特別に看護を要する児童に対応するための看護師1名を配置します。

☎ 指導課 ☎ 7150-6105 / 学校教育課 ☎ 7150-6104

☎ 企画政策課 ☎ 7150-6064

福

保育所の整備と耐震改修事業

4億3,328万円



4月オープンのみらい保育園

待機児童の解消を図るため、民設民営の保育園の整備に当たり建設費などの一部を補助します。

【平成24年度整備予定保育所】
(仮)南流山地区保育園(新設)、八木北保育園(建替え)、おおたかの森ナーサリースクール(増築)、江戸川台駅前保育園(新設)

また、平和台保育所の耐震改修工事を実施します。

☎ 保育課 ☎ 7150-6124

福

学童クラブの整備と効率的な管理運営事業

1億7,750万円



放課後を学童クラブで過ごす子どもたち

東深井小学校区の「もりのいえ学童クラブ」は、入所希望者が多く現在の施設が手狭となっているため、東深井小学校の教室棟の増築に併せて、新たに施設を整備します。また、平成24年度から市内全ての学童クラブの運営方式を、保護者を中心とした運営委員会方式から指定管理者制度に変更し施設の効率的な管理運営を行います。

☎ 保育課 ☎ 7150-6124

市民

福

祉の充実

誰もが充実した生涯をおくることのできる流山

福

送迎保育ステーション事業

3,722万円



市内保育所へ園児をバスで送迎します

流山おおたかの森駅前と南流山駅前に設置した送迎保育ステーションを拠点として、市内全域の保育所へ園児たちをバスで送迎しています。利用料金は月額2,000円 1日100円です。

☎ 保育課 ☎ 7150-6124

福

野々下児童センター・地域ふれあいセンターの効率的な管理運営事業

1,599万円

平成24年度から野々下福祉会館内の児童センターと地域ふれあいセンターに指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上と施設の効率的な管理運営による経費の節減を図ります。

☎ 子ども家庭課 ☎ 7150-6082 / ☎ 社会福祉課 ☎ 7150-6079

福

各種ワクチン接種費用に対する助成事業(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ほか)

3億8,376万円

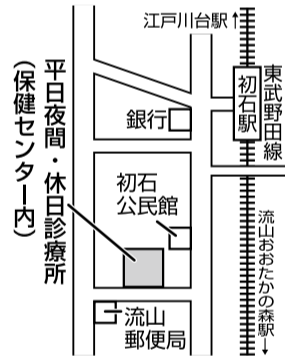
予防接種法に基づく予防接種のほか、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス感染を予防するワクチンを13歳(中学1年生)から16歳(高校1年生)の女子を対象に接種費用を助成します。また、ヒブ菌(b型インフルエンザ菌)と小児肺炎球菌の感染予防や重症化を防ぐため、0歳から4歳までの乳幼児を対象に接種費用を助成します。いずれも無料で接種できます。※ただし17歳(高校2年生)の女子のうち、平成23年度内に子宮頸がんワクチンを1回でも接種した方も無料で受けられます。

☎ 健康増進課 ☎ 7154-0331

福

市民の健康増進に関連する事業

4億8,594万円



平日夜間・休日診療所は保健センター内に

市民の生活習慣病の早期発見と健康保持のため、特定健診の充実や各種がん検診、女性特有のがん検診などを実施します。また、平日夜間と休日の急病に対応するため、平日夜間・休日診療所を開設します。これに加え、小児の急な発熱などに対応するため、市内2病院で月曜から土曜の午後9時から翌日午前8時の初期診療を確保します。さらに、妊婦や乳幼児の健康診査と指導を行います。

☎ 健康増進課 ☎ 7154-0331

福

子ども医療費の助成事業

4億4,045万円

子育て世帯の負担の軽減を図るため、子どもたちにかかる医療費を助成します。

【対象】通院：0歳～小学3年生 入院：0歳～小学6年生

※所得制限はありません。なお、入院については、12月から中学3年生まで拡大する予定です。

☎ 子ども家庭課 ☎ 7150-6082

福

乳児家庭の全戸訪問事業(こんには赤ちゃん訪問事業)

457万円



乳児家庭を訪問し育児に関するアドバイス

保健師や助産師などの専門職が、4カ月までの乳児のいる全てのご家庭を訪問し、育児に対する相談や心配にお答えするもので、親子の心身の把握や、育児に関する情報をお伝えしています。

☎ 健康増進課 ☎ 7154-0331

福

**障害を持つ方の
地域生活を支援する事業**

1億3,736万円

障害を持つ方が地域で自立した生活を送るための支援として、相談支援や日中一時支援、移動支援、日常生活用具給付、コミュニケーション支援、地域活動支援センターなど、障害者が地域で自立した生活を送るための支援を行います。なお、平成24年度からコミュニケーション支援として、市の主な行事に手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣します。

☎ 障害者支援課 ☎ 7150-6081

福

障害を持つ児童を支援する事業

7,045万円

障害を持つ児童に対して、身近な地域で通所サービスが受けられるよう支援を行います。これまで市が実施してきた「児童デイサービス」と、県が実施してきた「通所サービス」が平成24年度から一元化され、市が実施主体となります。

☎ 障害者支援課 ☎ 7150-6081

福

生活保護法等に基づく扶助事業

24億3,079万円

生活保護法に基づく各種扶助事業(生活・住宅・医療・教育・出産・生業・葬祭・介護・施設事務費)を実施します。平成23年12月1日現在で1,000世帯、1,503人が対象となっています。

☎ 社会福祉課 ☎ 7150-6079

産

**市のイメージアップと
企業・住民誘致の推進事業**

2,227万円



昨年12月行われたファミリエ

企業や住民誘致につながる市のイメージアップのためのイベントと情報発信を行います。イベントでは、森のマルシェを中心に屋台フェア、ファミリエなど時期をとらえた企画を実施します。シティセールスにつながる情報発信については、広告、パブリシティ、インターネットなど、あらゆるメディアを有効に活用し、市の知名度とイメージアップを図ります。

☎ マーケティング課 ☎ 7150-6308

産

就労支援に関連する事業

5,291万円



若年者の就労支援講座

千葉県緊急雇用創出事業補助金を活用して、昨年3月11日に発生した東日本大震災の被災者や震災以降に離職した市内在住の30歳未満の若年者を対象に、パソコン技術の習得や企業研修を通して社会適応能力をアップさせて雇用の促進を図ります。

☎ 商工課 ☎ 7150-6085

福

保健センター ESCO化事業

490万円



省エネが図られた保健センター

保健センターにおいて、ESCO (Energy Service Company) 事業者が設置、保有する空調設備やLED照明設備などを使用することで省エネルギー化を図ります。
※ESCO事業とは、民間の資金とノウハウを活用し、設備などの省エネルギー化改修を行い、環境負荷の低減、ならびに光熱水費の削減を図るものです。

☎ 健康増進課 ☎ 7154-0331

福

老人福祉センターの建て替え事業

1億3,958万円

老朽化した施設を平成24～25年度の2カ年で建て替えます。工事期間中も既存施設を利用できるように、敷地内の空きスペースにまず本館を建設し、第2期工事として別館を建設します。今年度は、本館596.3㎡の建設工事を行います。



パース図

☎ 高齢者生きがい推進課 ☎ 7150-6080

産 業の振興

賑わいと活気に
満ちた流山

産

商工業の振興・発展のための事業

1,703万円



共通ポイントカード「ながぼん」ののぼり

市内商工業の振興・発展のため、商店街の街路灯の設置費用や電気料を助成するなどの支援を行います。平成24年度から新たに、流山共通ポイントカード事業の安定経営を図るため、借入金償還に係る利子額の一部を助成するほか、平成24年度に限定して同事業に対し補助金を交付します。

☎ 商工課 ☎ 7150-6085

産 流山本町・利根運河
ツーリズム推進事業

2,966万円

地域の活性化と交流人口の増加を図るため、流山本町・利根運河地区の歴史的建造物を活用して、ギャラリーや飲食店などの店舗を開業する方に、建物の改装費と賃借料の一部を補助します。また、万華鏡ギャラリー見世蔵と利根運河交流館の運営を業務委託し、情報発信や市民の交流拠点としての活用を図ります。



流山本町地区に4月5日オープン
の丁字屋と蔵日和

☎ 商工課 ☎ 7150-6085

産 このまちごはんプロジェクト

1,104万円



流山産米を使った太巻き寿司教室

流山産米の普及と地産地消を推進するため、市内の小中学校の給食に流山産米を毎年供給します。また、このプロジェクトのため流山産米を提供した生産者には、助成を行います。

☎ 農政課 ☎ 7150-6086

行 新たな歳入確保にむけた事業

0円

流山おおたかの森駅に設置しているデジタルサイネージを今年3月に南流山駅にも設置し、平成24年度は約206万円の歳入を予定しています。また、新たに実施する庁舎内に掲示する有料広告では、年間で約120万円の歳入が見込まれます。県内で最初に実施した市ホームページのパナー広告



庁舎内に設置される掲示板のイメージ

では、平成16年度からの8年で約2,450万円の収入を得ており、平成24年度も270万円の歳入予算を計上しました。このほか、市役所の玄関マットにも有料広告を掲示しています。

☎ マーケティング課 ☎ 7150-6308
☎ 財産活用課 ☎ 7150-6069
☎ 秘書広報課 ☎ 7150-6063

行 政の充実

公・民パートナーシップによる
構想実現と効率的、
効果的行財政運営

行 ホームページの
全面リニューアルと運営事業

315万円



現在の市ホームページ

画一的なページが自動的に作れるシステムを導入し、市のホームページを今年10月に全面リニューアルする予定です。見やすく分かりやすいホームページとすることで、市民はもとより市外の方や企業にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信していきます。

☎ 秘書広報課 ☎ 7150-6063

行 市役所や
福祉会館などのESCO事業

0円

市役所や中央図書館・博物館、さらには赤城、思井、江戸川台、駒木台、向小金の5つの福祉会館にESCO事業を導入し、7施設の空調設備の全面更新と市役所、図書・博物館の天井照明のLED化などを実施します。平成24年度は、空調や天井照明などのESCO改修工事、試運転調整を行い、平成25年4月から13年間の契約による光熱水費等の削減保証を受ける予定で



事務室内の照明をLED化

す。*ESCO事業とは、民間の資金とノウハウを活用した包括的なエネルギーサービスで、設備などの省エネルギー化改修を行い、環境負荷の低減、ならびに光熱水費の削減を図る事業です。

☎ 財産活用課 ☎ 7150-6069

行 市議会の
ICT（情報通信技術）化推進事業

305万円

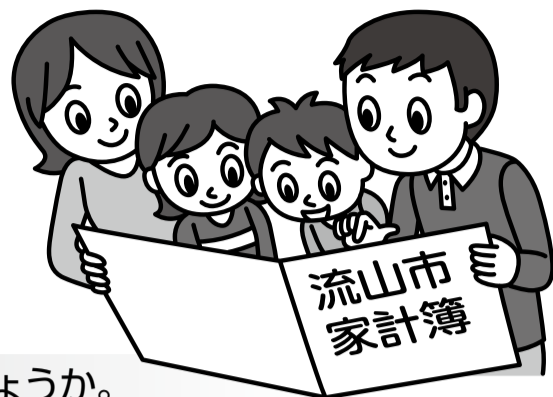


議場内の掲示板上に採決結果を表示
(写真は平成24年度一般会計予算の採決)

スマートフォンを利用した電子採決システムを使用し、議案の採決結果を議員別に賛否を明らかにし、市民に開かれた議会を目指します。また、本会議の映像をインターネットで市議会のホームページ上に公開し、市民との情報の共有化を図ります。

☎ 議会事務局 ☎ 7150-6099

わたしたちのまちの 家計簿を知ろう!



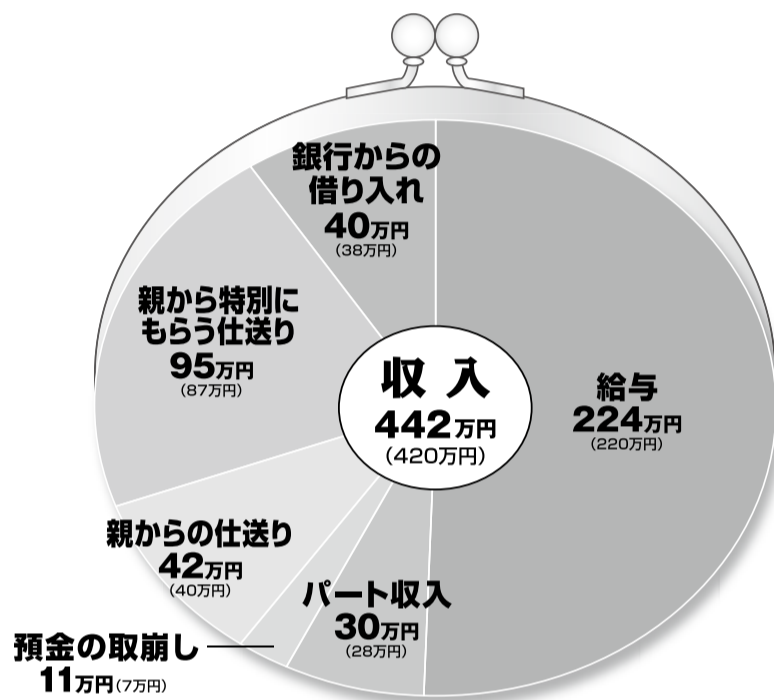
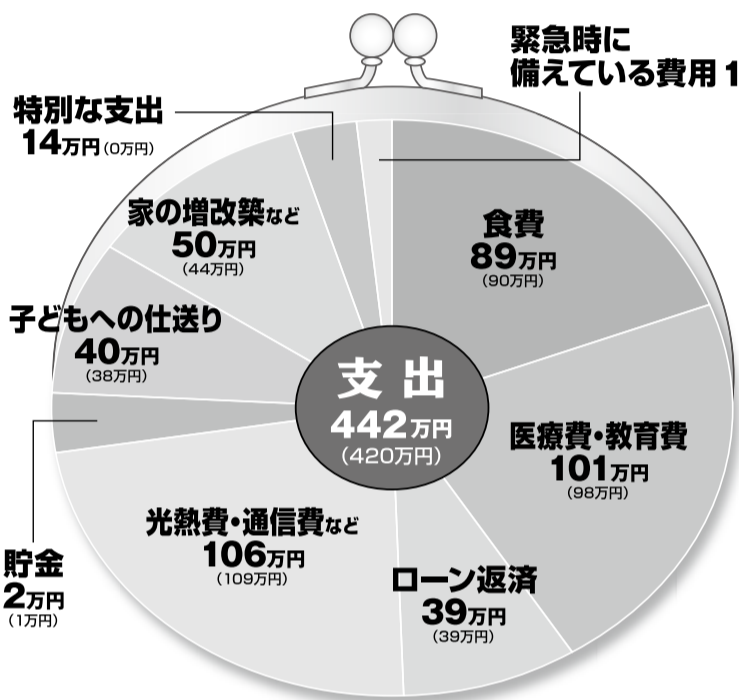
家計簿に置き換えると
どうなるのかな?

流山市の収入と支出はどうなっているのでしょうか。
ここでは平成24年度のお金の出入りの予定を「家計簿」に例えてみました。
皆さんのお宅の家計と比べてどうでしょうか? 問 財政調整課 ☎ 7150-6071

平成24年度 流山市の家計簿

一般会計予算442億200万円を10,000分の1にして示しています。

※()は平成23年度のもの



家計簿の中身

～家計簿に例えたものは実際にはどんなお金になるの?～

支出 (歳出)

- 食費⇨人件費
人件費/市長や市議会議員、市役所で働いている職員に給料を支払っています。
- 医療費・教育費⇨扶助費
扶助費/子どものいる方、障害を持った方、高齢者の方などの生活をサポートしています。
- ローン返済⇨公債費
公債費/借金(地方債)の返済をしています。
- 光熱費・通信費など⇨物件費、補助費等、維持補修費
物件費/専門業者に仕事を依頼したり、業務で使用する機械を借りたりしています。
補助費等/国や県へ負担するお金、流山市がほかの市と共同で運営している火葬場などの費用に対して支出しています。
維持補修費/道路や学校などの施設の維持補修をしています。
- 貯金⇨積立金
積立金/寄附があった時や収入の見込みが支出を上回り差額が出た時に、有事に備えて貯金をしておきます。
- 子どもへの仕送り⇨繰出金
繰出金/特別会計に対して支出しています。
特別会計は一般会計とは区別して処理するための会計で、法律で義務づけられているものもあります。
- 家の増改築など⇨投資的経費
投資的経費/道路や学校などの施設建設や改修をしています。
- 緊急時に備えている費用⇨予備費
予備費/緊急な支出に対応するために準備している費用です。
- 特別な支出⇨放射能対策費
放射能対策費/除染や焼却灰の保管など放射能対策に要する経費です。

収入 (歳入)

- 給与⇨市税 市税には大きく5つの税金があります。
市民税/流山市に住んでいる方や会社からいただく税金
固定資産税/土地や家屋など、固定資産を持っている方からいただく税金
都市計画税/市街化区域内に土地や家屋を持っている方からいただく税金
市たばこ税/たばこを買った方からいただく税金
軽自動車税/バイクや軽自動車を持っている方からいただく税金
- パート収入⇨分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰越金など
分担金及び負担金/特定の事業に必要な経費を負担していただきます。
例: 保育所の保育料
使用料及び手数料/市の施設を利用した時、市の証明書類の発行を受けた時などにいただきます。
繰越金等/前年度から繰り越したお金などです。繰越金は、前年度の収入総額-支出総額で計算します。
- 預金の取り崩し⇨繰入金
繰入金/市が持っている基金(特定の目的や不測の事態に備えて積み立てておく預金のようなもの)を取り崩したお金です。
- 親からの仕送り⇨地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税(普通・特別交付税、震災復興特別交付税)など
地方譲与税、地方消費税交付金等/国や県で集めた税金のうち、法令で定められた分が市に交付されます。
普通交付税/国が算定した標準的な支出が収入を上回る地方公共団体に交付されます。
特別交付税/普通交付税における標準的な基準ではとらえきれない特別な事情がある地方公共団体に交付されます。
震災復興特別交付税/東日本大震災に係る復興事業等の実施のために特別な財政需要がある地方公共団体に交付されます。
- 親から特別にもらう仕送り⇨国庫支出金、県支出金
国庫支出金、県支出金/特定の事業など、国や県から用途を指定されて交付されます。
- 銀行からの借り入れ⇨地方債
地方債/市の借金です。施設の建設や改修には多額の費用がかかります。このため現在の市民の皆さんだけでなく、将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくよう、借金をしています。最近では国の財務事情により、本来なら税金や普通交付税として入ってくるお金が入ってこないことがあります。どの分も借金で補っています。

事業を行うための予算は？

ご負担いただく税金と一人当たりに使われるお金

☎ 財政調整課 ☎ 7150-6071

※()は平成23年度のもの

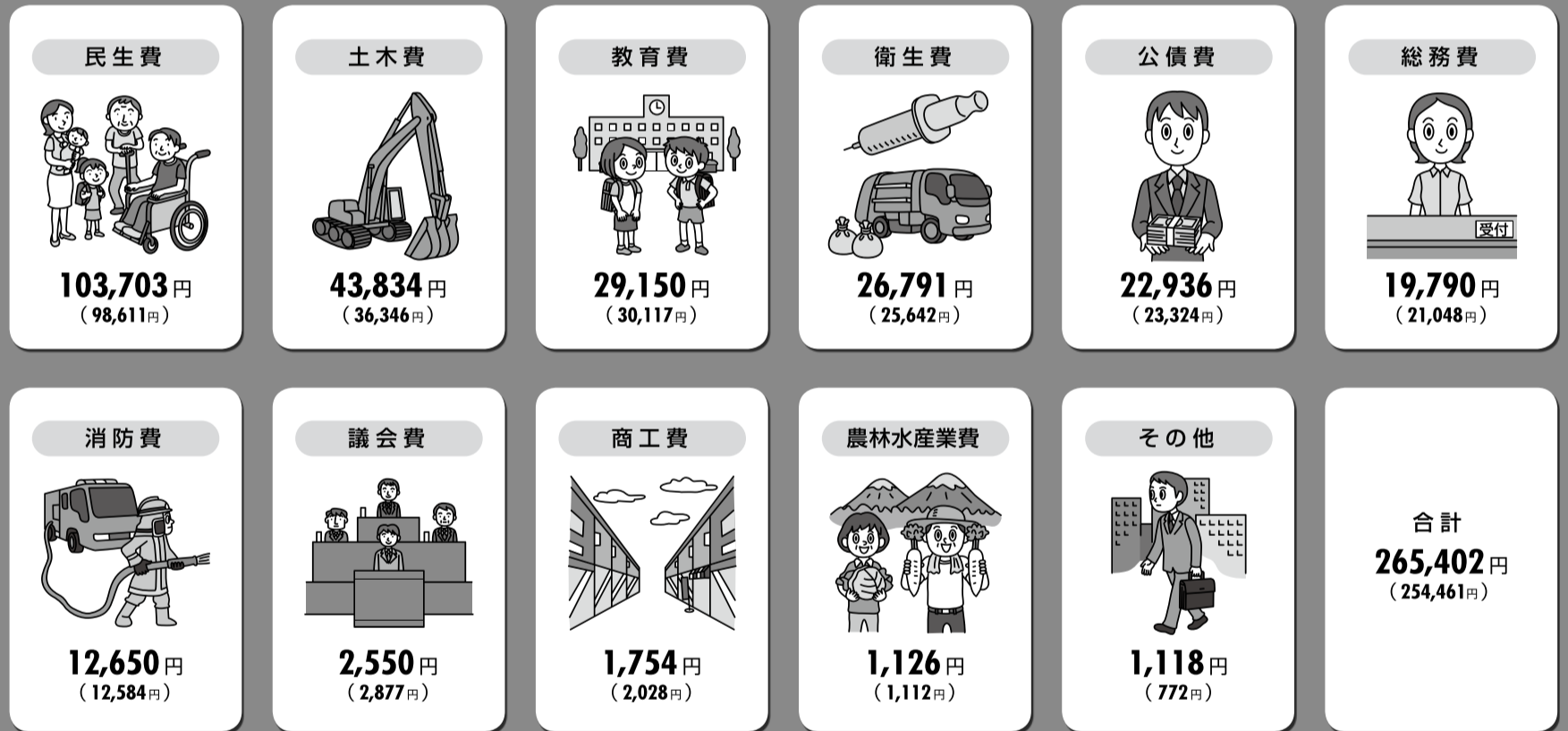
■ 一般会計

市民の方に負担していただく各種税金



※都市計画税とは、下水道整備・道路・公園など、総合的なまちづくりを行う都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用にあてるための目的税です。

市民一人当たりに使われるお金 (平成24年3月1日現在の人口:166,547人)



放射能対策に係る費用として14億2,681万円(一人当たり8,567円)が含まれています。一人当たりへ換算した内訳は、民生費763円、土木費3,644円、教育費2,466円、衛生費1,599円、農林水産費35円、労働費60円です。

■ 会計別の予算

区分	平成24年度	平成23年度	対前年度比較	
	予算額	予算額	増減額	
一般会計	442億 200万円	419億 9,800万円	22億 400万円	
特別会計	介護保険特別会計	83億 8,740万円	79億 132万円	4億 8,608万円
	後期高齢者医療特別会計	15億 588万円	13億 7,242万円	1億 3,346万円
	国民健康保険特別会計	151億 541万円	145億 890万円	5億 9,651万円
	西平井・鱒ヶ崎土地区画整理事業特別会計	18億 7,906万円	16億 6,184万円	2億 1,722万円
	公共下水道特別会計	43億 6,623万円	48億 5,807万円	△4億 9,184万円
特別会計合計	312億 4,398万円	303億 255万円	9億 4,143万円	
水道事業会計	57億 6,172万円	50億 7,605万円	6億 8,567万円	
合計	812億 770万円	773億 7,660万円	38億 3,110万円	